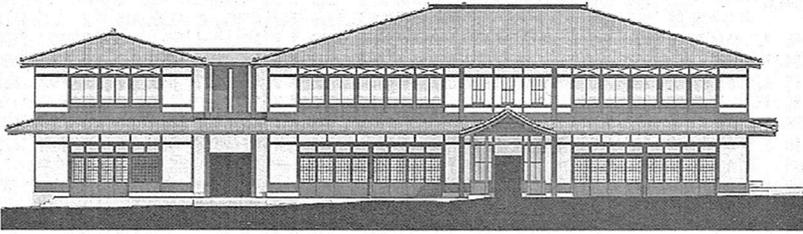


平安神宮境内に時代祭館

12月20日開業
カフェや土産店など



平安神宮境内にオープンする商業施設「トニートニート」の外観の完成予想図



スクリーンに時代祭の行列が映し出される館内のイメージ図

京都平安振興財団（京都市左京区）は20期は飲食や土産物など日、左京区岡崎の平安神宮西側に商業施設「京都・時代祭館」を2022年（トニートニート）を12月20日にオープン

すると発表した。第1期は飲食や土産物など29店舗が入居。岡崎地域で増えている観光客をターゲットに据える。トニートニートは鉄筋造地を12月20日にオープン

上2階建て延べ3110平方メートル。同神宮境内に建つ。時代祭が催される10月22日にちなんで施設名を決めた。施設のテーマは「365日、時代祭はここにある」。館内を取り巻くように長さ約30メートルのスクリーンを備え、時代祭の風俗行列の映像を投影する。テナントは、老舗茶商の上林春松本店（宇治市）によるカフェなどの飲食店をはじめ、京漬物の大安（左京区）や和菓子の鶴屋吉信（上京区）が入る土産物店、免税店などが先行してオープン。残りの数店舗は来春開店の予定。市産業観光局の京都観光総合調査によると、京都を訪れる日本人観光客のうち「岡崎・蹴上周辺」に足を運ぶ割合は2013年の14・8%から、16年には20・7%に上昇。「嵯峨嵐山周辺」の26・8%に近づいている。

京都平安振興財団は、「岡崎エリア観光の周遊性アップにつながる」と話している。（今野孝）